

機会一覧

直接操業（国内製造拠点）および下流（農業現場）の機会評価結果

機会分類	機会内容	自然との関連性	財務影響	評価		主要な対応策
				TNFD#1	TNFD#3	
製品・サービス市場 技術革新	1. GHG 削減・資源効率化による競争力向上および資金調達環境の改善	製造：GHG 排出削減、包装材の環境負荷低減による気候変動緩和への貢献	低炭素製品の売上増加、グリーンファイナンスアクセス改善、包装コスト最適化	大	中	<ul style="list-style-type: none"> ・資源効率化・GHG 削減による競争力向上 ・低炭素製品の開発・市場展開 ・ライフサイクル全体での GHG 排出削減の推進 ・バイオマスインクの資材包装への切り替え推進（TNFD#1 でのみ） ・GHG 排出削減のための製造技術の研究開発の取り組み
	2. IPM/スマート農業ソリューション市場の拡大	下流：IPM 推進による土壌・水質・生物多様性への負荷軽減、スマート農業による精密施用で環境負荷最小化	環境調和型製品売上増加、土壌改良資材・微生物農業市場拡大、デジタルサービス収益	大	大	<ul style="list-style-type: none"> ・IPM（総合防除）ソリューション推進による市場拡大 ・スマート農業対応製品・サービスの提供 ・生物農業・バイオスティミュラント製品の提供 ・微生物農業、フェロモン剤等の研究開発と市場投入 ・精密農業・節水農業に対応した製品の研究開発 ・水資源制約地域向け製品の市場開拓
	3. 環境調和型製品の市場拡大による売上増加	下流：土壌・水質への負荷軽減、生物多様性保全への貢献	環境調和型製品売上増加	大	大	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減型製品のポートフォリオ拡充 ・持続可能な農業への貢献を訴求したマーケティング展開
	4. 気候変動対応における農業需要拡大	下流：気候変動適応製品による農業生態系の安定性維持、食料生産を通じた自然資本の持続的利用	気候変動対応製品売上増加	大	中	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動に適応した品種・栽培体系に対応する製品開発および登録推進 ・極端気象条件下での効果を維持する製剤設計
	5. 製品による水の影響軽減	下流：節水型農業による水資源使用効率化	節水型製剤の市場拡大、水資源制約地域での市場開拓、水関連リスク軽減による安定収益	大	大	<ul style="list-style-type: none"> ・節水型農業（少水量散布対応製剤）の研究開発・登録推進 ・精密農業（スポット散布）対応製品の登録推進 ・局所施用（節水）技術による水使用量最適化の推進 ・水資源制約地域向け製品の市場開拓
	6. 生産物の品質低下による農業需要拡大	下流：極端気象による作物ストレスの軽減	気候変動対応型製品の需要拡大	中	大	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ストレスに耐性がある製品開発 ・病害虫発生予測システム利用による品質低下の回避
	7. 気候変動に伴う病害虫増加による農業需要拡大	下流：気候変動による病害虫発生パターン変化への適応、作物保護による食料安全保障への貢献	農業需要の量的・質的拡大、高付加価値製品への需要シフト、広スペクトラム製品売上増	大	大	<p>（製品・技術開発による対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動適応型製品の研究開発・上市の加速 ・病害特異的・害虫特異的な高効率製品のラインアップ強化 ・高性能な予防的防除効果を有する製品の開発 ・汎用型広スペクトル製品の開発 <p>（ソリューション・農業技術による対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IPM（総合防除）ソリューション推進 <ul style="list-style-type: none"> ・非標的生物（受粉昆虫・天敵等）影響を最小化する高選択性製品の開発 ・抵抗性管理を考慮したローテーション散布体系の提案 ・スマート農業対応製品・サービスの提供 ・データを活用した適期防除・適量散布の高度化 <p>（市場対応・事業戦略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型市場解析力の増強と開発・普及戦略への適時反映 ・高付加価値型・広スペクトル製品への需要シフト対応 ・気候変動影響が大きい作物・地域へのポートフォリオ拡充と最適化 ・マーケティング戦略による適応型製品の市場浸透強化
	8. 外来種に効果のある農業の売上増加	下流：外来種による生態系攪乱防止、在来生物多様性保全への貢献	外来種対応農業の特殊市場開拓、高付加価値製品としての価格プレミアム	中	大	<ul style="list-style-type: none"> ・外来種対応農業の研究開発 ・生態系保全機関との連携強化 ・外来種モニタリングシステムとの連動